

自治体の課題、現状

各学校において、部員数が減少しているため、通常の練習や大会参加に係るチーム編成に支障をきたしている部活動もあり、合同チームや拠点校として中学校体育連盟の大会等に出場している。また、在学する学校に希望する部活動の種目がないことから、部活動に所属していない生徒もいるが、部活動の加入率は88%と高く、部活動に対する教育的効果の期待も高い地域である。しかし、令和5年度に既存の市内スポーツ団体・文化団体に、中学生の受け入れについてアンケート調査した結果では、中学生を受け入れた場合の責任や場所、用具等の不安で受け皿となる団体が少ないことが課題として明らかになった。こうした中でも、生徒がスポーツ・文化活動に継続して親しむことのできる機会確保のための受け皿を増やす取組を目指している。

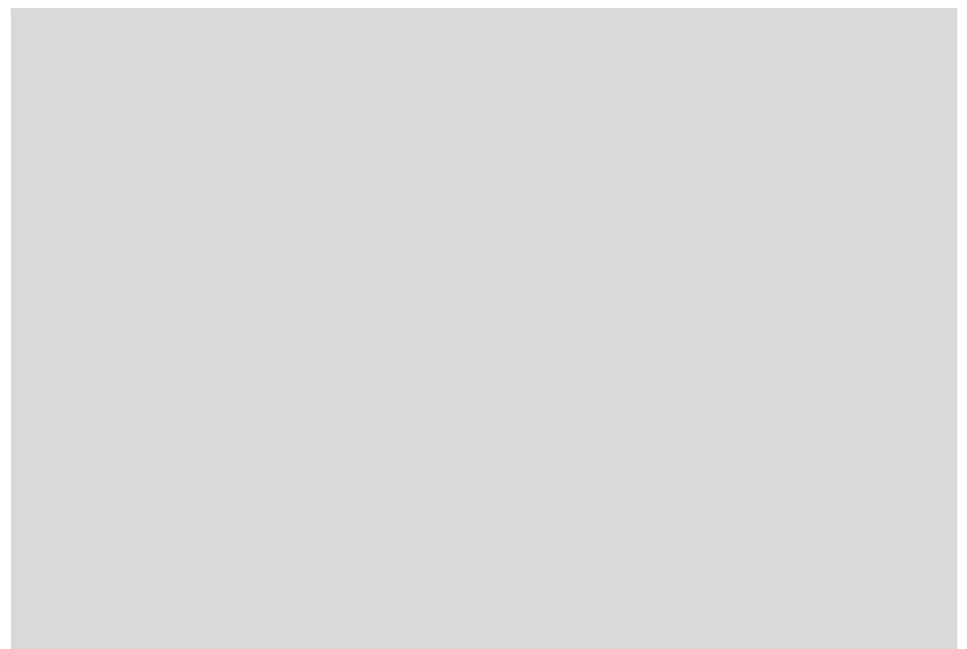
地域スポーツクラブ活動等の概要

| | | | |
|----------|---------------------|------------|--|
| 中学校数 | 5校 | 全生徒数 | 870人 |
| 域内の部活動数 | 34部 | 実施した地域クラブ数 | 4クラブ |
| 全体の指導者数 | 20人 | 全体の運営スタッフ数 | 20人 |
| 主な運営団体 | 任意団体 | | |
| 主な種目 | 軟式野球、バレーボール、空手、サッカー | | |
| 平均的な活動回数 | 4回/月 | 年間平均参加生徒実数 | 3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ |
| 参加会費 | 6000円/年 | 主な活動場所 | 市内体育施設 |

地域移行関連の取組、成果

- ・桜川市地域展開推進委員会を年5回開催し、今後の方向性について検討した。
- ・桜川市教育委員会認定地域クラブ取扱要綱の整備により、地域クラブが増えた。
- ・地域展開地域説明会を年に2回開催し、市民への周知と市民の声を聴く有効な機会となった。
- ・中学校入学説明会において、今後の部活動について教育委員会より説明する場を設けたことにより、認知度が高まった。
- ・各学校の部活動顧問会議や市中学校体育連盟連絡協議会等に参加し、教育委員会の進捗状況や学校の現状について互いに共有し、連携強化に繋がった。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県桜川市

自治体名： 茨城県桜川市
担当課名： スポーツ振興課
電話番号： 0296-75-6600

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

| | |
|------------------------|-----------------------|
| 面積 | 179.8 km ² |
| 人口 | 36,023 人 |
| 公立中学校数 | 5 校 |
| 公立中学校生徒数 | 870 人 |
| 部活動数 | 34 部活 |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 桜川市地域展開推進委員会を設置済み |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | ロードマップ |

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市では、令和5年12月に「桜川市部活動地域展開推進委員会」を教育委員会を事務局として発足した。構成は、地域のスポーツ団体、文化団体、学校、保護者の関係者である。

現在、少子化により、学校部活動に大きな影響が出ている。中学校4校、義務教育学校1校であるが、令和7年度には、中学校3校、義務教育学校1校の計4校となる。

現在、各学校において、部員数が減少しているため、通常の練習や大会参加に係るチーム編成に支障をきたしている部活動もあり、合同チームや拠点校として中学校体育連盟の大会等に出場している。また、在学する学校に希望

する部活動の種目がないことから、部活動に所属していない生徒もいるが、部活動の加入率は88%と高く、部活動に対する教育的効果の期待も高い地域である。

しかし、令和5年度に既存の市内スポーツ団体・文化団体に、中学生の受け入れについてアンケート調査した結果では、中学生を受け入れた場合の責任や場所、用具等の不安で受け皿となる団体が少ないことが課題として明らかになった。

こうした中でも、生徒がスポーツ・文化活動に継続して親しむことのできる機会確保のための受け皿を増やす取組を目指している。

【令和6年度生徒数及び部活動加入率】

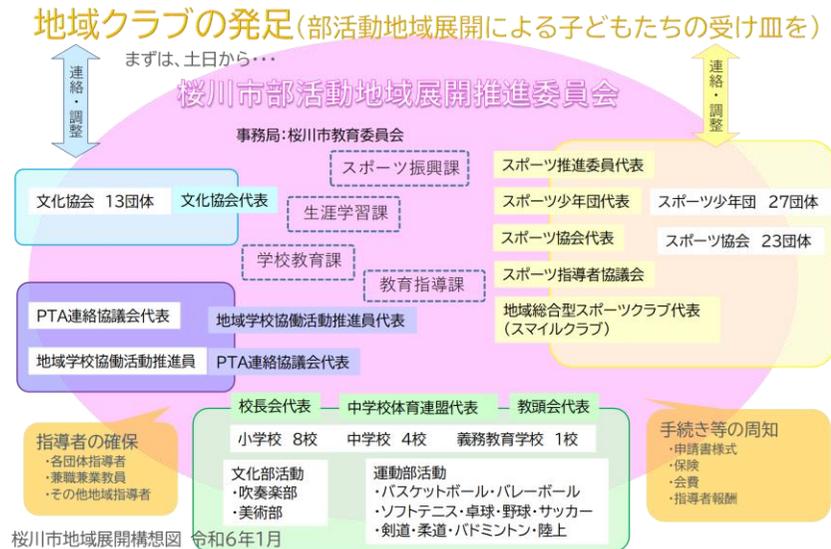
| | 生徒数 | 加入率 |
|----|-----|-----|
| 1年 | 291 | 89% |
| 2年 | 284 | 90% |
| 3年 | 296 | 86% |
| 全体 | 870 | 88% |

【市内生徒数推移見込み】



運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・教育指導課：市内学校（学校部活動）との連携・調整等
- ・スポーツ振興課：スポーツ団体との連携・調整等
- ・生涯学習課：文化団体との連携・調整等

◎首長部局

今後連携強化をする

年間の事業スケジュール

| | |
|---------|--------------------|
| 令和6年6月 | 第4回櫻川市部活動地域展開推進委員会 |
| 令和6年8月 | 第5回櫻川市部活動地域展開推進委員会 |
| 令和6年8月 | 部活動地域展開地域説明会 |
| 令和6年10月 | 第6回櫻川市部活動地域展開推進委員会 |
| 令和6年12月 | 第7回櫻川市部活動地域展開推進委員会 |
| 令和7年1月 | 第8回櫻川市部活動地域展開推進委員会 |
| 令和7年2月 | 部活動地域展開地域説明会 |
| 令和7年2月 | 指導者講習会（リスクマネジメント） |

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

| | | | |
|----------|--|-------------|---------------|
| 中学校数 | 5 校 | 実施した地域クラブ総数 | 4 クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数） | | 4 クラブ（××× 部活） |
| | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） | | 0 クラブ |
| 全体の指導者数 | 20 人 | 全体の運営スタッフ数 | 20 人 |

②各クラブに関すること

| クラブ名 | 運営団体種別 | 種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数 | 実施時間帯 | 参加者 （学年別） | 実施期間 | 活動場所 | 指導者数 | 運営スタッフ数 （他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|----------------|---------|-------------------------|---------|------------|-------------------------|------|----------------------|------|----------------------|----------------|-----------|
| VC. WISE | 任意団体運営型 | バレーボール | 週 5 回 | 夜間 | 1年生8人 2年生10人 | 通年 | 真壁第二体育館 | 3 人 | 3人 （内、兼務0人） | 月会費 7,000 円 | 中体連：地域クラブ |
| 桜川市野球塾 | 任意団体運営型 | 軟式野球 | 週 1 回程度 | 午前8時～午前11時 | 1年生11人 2年生5人 | 通年 | 大和中学校校庭 | 10 人 | 10 人 （内、兼務0人） | 月会費 2,000 円 | 中体連：部活動 |
| East & West FC | 任意団体運営型 | サッカー | 週 1 回程度 | 午前8時～午前11時 | 1年生 人 2年生 人 3年生 人 | 通年 | 桜川市総合運動公園または岩瀬日大高校校庭 | 5 人 | 5 人 （内、兼務0人） | 月会費 500 円 | 中体連：部活動 |
| 岩瀬空手道スポーツ少年団 | 任意団体運営型 | 空手道 | 週 3 回 | 夜間 | 1年生1人 2年生1人 3年生1人 | 通年 | 岩瀬体育館「ラスカ」 | 2 人 | 2 人 （内、兼務0人） | 月会費 3,000 円 | その他：地域クラブ |

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 桜川スマイルクラブ（総合型地域クラブ）体験会
 ビームライフル・ビームピストル ①6/2 ②7/7 ③8/4 参加費1000円
 ダンス ①5/19 ②1/26 ③11/24 参加費1000円

主な取組例

●VC.WISE 活動概要

| | |
|-----------------|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | バレーボール |
| 運営団体名 | VC.WISE |
| 期間と日数 | 期間：通年 日数：週 5 回 |
| 指導者の主な属性 | JSPPO公認指導者（コーチ1） |
| 活動場所 | 真壁第二体育館 |
| 主な移動手段 | 自転車、車 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 84,000 円 |
| 1人あたりの保険料 | スポーツ安全保険 生徒 1人あたり：800円/年 指導者 1人あたり：1,850円/年 |

●指導者及び組織

組織

- クラブ代表 1名
- 事務局 1名
- 監督 1名
- コーチ 若干名

指導者会議

- 参加者：クラブ代表、監督、コーチ
- 練習など技術向上の話合いをもち方針や練習計画を決定

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

桜川市部活動地域展開推進委員会で、地域展開の仕組みや方針を協議し広く発信していく。受け皿となり得る団体へのヒアリング等で中学生世代の活動の場を増やしていく。

取組の成果

- ・教育委員会（スポーツ振興課・教育指導課・生涯学習課）が事務局となり、地域スポーツ団体・文化活動団体・学校・P T A・C Sの代表者により構成される「桜川市部活動地域展開推進委員会」において、市教育委員会認定地域クラブ制度の創設が決定し、今年度から制度の運用を開始した。なお、要件を満たした4団体に認定資格を付与した。
- ・スポーツ少年団への働きかけを行い、2単位団（ソフトテニス、ドッジボール）が令和7年度から中学生の受け入れを開始する。

今後の課題と対応方針

- ・認定地域クラブ制度の周知
- ・既存団体への協力依頼

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

指導者講習会を開催し質の保証を目指す。

茨城県の指導者バンクの活用、市スポーツ指導者協議会との連携を図り人材発掘を目指す。

人材バンクの人数

00000名

人材バンクの年齢構成

| | |
|-------|-------|
| 10代 | 0000名 |
| 20代 | 0000名 |
| 30代 | 0000名 |
| 40代 | 0000名 |
| 50代 | 0000名 |
| 60代以上 | 0000名 |

登録者属性

種目

資格有無

取組の成果

2月に講習会を開催。指導にあたってのリスク管理の大切さを学ぶことができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【リスクマネジメント講習会】

- ・対象：スポーツ団体及び文化団体関係者
- ・目的：スポーツ活動・部活動・地域団体活動において事故が多発している事に関して、事故対策・対処法を学ぶため。
- ・講師：谷塚 哲 氏
- ・工夫した点：講習会の内容を決定するにあたり、桜川市指導者協議会と連携し、実際に指導している現場目線での意見等を取り入れた。

指導者研修の参加実績

- ・開催日：令和7年2月23日
- ・開催回数：1回
- ・参加人数：42人

受講者の声

受講者アンケートより抜粋

- ・無料体験者に対しても安全に配慮する義務が発生することを知った。今後は無料体験者にも必ず加入をさせるようにしたい。
- ・スポーツ活動中の事故は原則自己責任であるが、安全に配慮する義務を怠ると訴訟に発展するリスクがあることを改めて意識するきっかけとなった。

今後の課題と対応方針

- ・市教育委員会認定地域クラブの指導者に、当該研修の受講を必須とするかどうか検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

教育委員会だけでなく首長部局とも連携を図り子供たちの活動の幅を広げられるよう進めていく。

取組の成果

バス等の運行実績

バス等の運航経費・収入

今後の課題と対応方針

首長部局・関連団体・企業と連携を図り、支援・活動の幅を広げられるよう、情報等を共有していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

・持続可能な活動をサポートするため、市教育委員会認定地域クラブの施設使用料を全額減免する。
なお、経費の試算にあたっては、認定地域クラブの中で、前年度以前から活動している唯一の団体である岩瀬空手道スポーツ少年団の令和5年度の実績を基にした。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・事務用品

■ランニングコストの分析

・大会参加費

・保険料

なお、以下の費用は、岩瀬空手道スポーツ少年団では発生していないため、仮定の数値を設定した。

・指導者謝礼

・施設使用料

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

次ページ参照

収支バランス

次ページ参照

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

市教育委員会認定地域クラブ4団体に対して、施設使用料の減免を実施した。

右図は、岩瀬空手道スポーツ少年団の令和5年度の実績をもとに、試算を行ったもの。参加者13名（令和5年度実績値）、指導者2人、週11時間、52週活動した場合を想定。

令和5年度岩瀬空手道スポーツ少年団収支決算書をもとに作成

| 施設使用料を減免しない場合 | | |
|---------------|---------|-----------|
| 分類 | 項目 | 金額 |
| イニシャルコスト | 事務費 | 60,000 |
| | | |
| ランニングコスト | 大会出場費 | 140,000 |
| | 登録費・保険料 | 150,000 |
| | 指導者謝礼 | 1,400,000 |
| | 施設使用料 | 500,000 |
| 合計 | | 2,250,000 |

2,250,000円÷参加者13名＝年間約170,000円（月謝14,000円）

| 施設使用料を減免する場合 | | |
|--------------|---------|-----------|
| 分類 | 項目 | 金額 |
| イニシャルコスト | 事務費 | 60,000 |
| | | |
| ランニングコスト | 大会出場費 | 140,000 |
| | 登録費・保険料 | 150,000 |
| | 指導者謝礼 | 1,400,000 |
| 合計 | | 1,750,000 |

1,750,000円÷参加者13名＝年会費約135,000円（月謝11,000円）

今後の課題と対応方針

【課題】

施設使用料が無料である学校施設を使用する団体と、有料施設を使用している団体との間で不公平が発生する可能性がある。

【対応方針】

施設使用料以外の登録料・保険代等の項目を公費負担とする必要があ

るか要検討。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

学校体育施設に関しては学校と調整のもと、各団体へ開放し活動に活用している。

令和6年度中にすべての学校施設にリモートロックシステムを導入済み。

取組の成果

- ・施設利用者が鍵の受け渡しをする手間がなくなった。
- ・開放管理人に支払っていた報酬がなくなった。

今後の課題と対応方針

学校との連携を強化しよりニーズをあった開放ができるようにしていく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

国の実証事業で、年間5回の推進委員会を開催することができた。事務局である教育委員会内のスポーツ振興課、生涯学習課、教育指導課、学校教育課、地域展開推進委員会との連携のもと、地域スポーツ団体、地域文化団体、学校関係（市中体連含む）、保護者、市民へ向けて、部活動地域展開についての理解促進を進めてきた。

今年度、地域の受け皿として発足した地域クラブでは、子どもたちは生き生きと活動する様子はあるが、運営上の課題もいくつか見られた。今後は、これらのクラブをモデルして、地域の受け皿を増やしていく。

令和8年度の休日部活動を実施しない代わりに子どもたちの活動できる場をどのように増やしていくか、他市の取組等を参考にしながら、関係者で検討を重ねてきた。今までの部活動が大きく変わろうとする今、本市として何をすべきか、何ができるのか、できることから少しずつ進めてきた。生徒、保護者、地域、行政、学校など、それぞれの立場や環境が違いによる多様な意見がある中で、今後も、こどもたちのためという思いを大切にしながら、合意形成を図っていく。

●成果の評価

- ・桜川市地域展開推進委員会を年5回開催し、今後の方向性について検討した。
- ・桜川市教育委員会認定地域クラブ取扱要綱の整備により、地域クラブが増えた。
- ・地域展開地域説明会を年に2回開催し、市民への周知と市民の声を聴く有効な機会となった。
- ・中学校入学説明会において、今後の部活動について教育委員会より説明する場を設けたことにより、認知度が高まった。
- ・各学校の部活動顧問会議や市中学校体育連盟連絡協議会等に参加し、教育委員会の進捗状況や学校の現状について互いに共有し、連携強化に繋がった。

●今後に向けて

- ・既存の部活動の受け皿の確保と、既存の部活動の種目にこだわらない活動機会の確保に向けた取組の推進
- ・各競技団体や文化団体との個別の対応
- ・困窮家庭に対する支援制度の構築
- ・市認定地域クラブ周知のためのHP等の充実
- ・学校や地域の現状把握と地域展開についての理解促進
- ・教育委員会内だけでなく、市長部局、地域団体、企業等との連携
- ・子どもの思いを実現するための方策

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●部活動・地域クラブ活動についてのアンケート結果（令和7年1月調査）

対象：桜川市 中学1,2年（義務7,8年）生徒467人・小6児童292人・小6～中2保護者570人・教職員177人

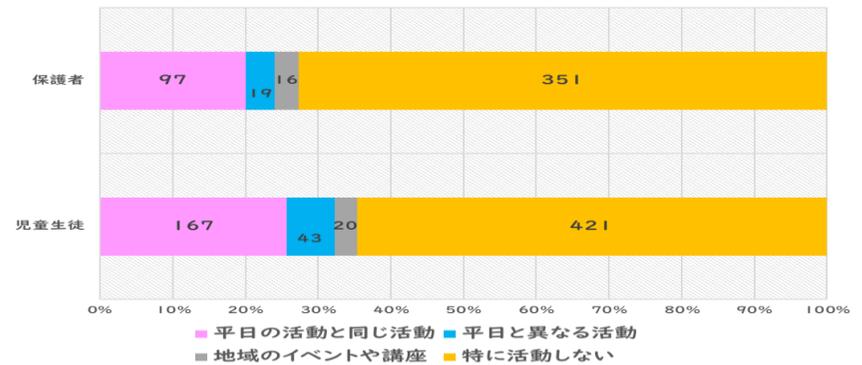
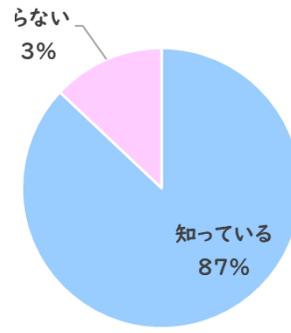
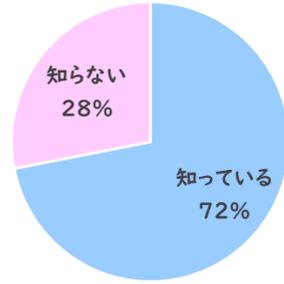
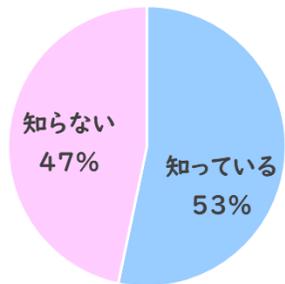
Q 令和8年度より休日部活動を実施しないことについて知っていますか。

Q 休日の部活動がなくなった場合のどのように過ごしますか。

中学1,2年(467人)

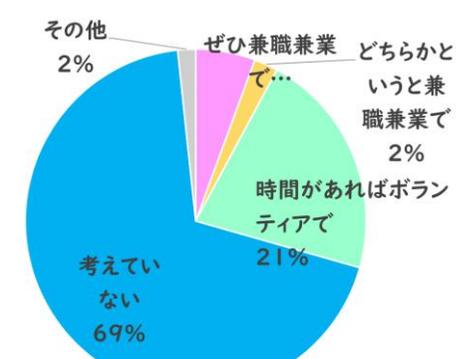
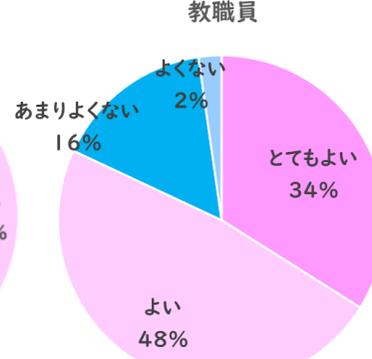
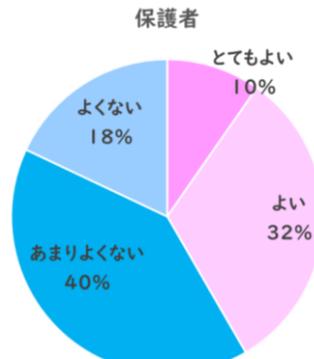
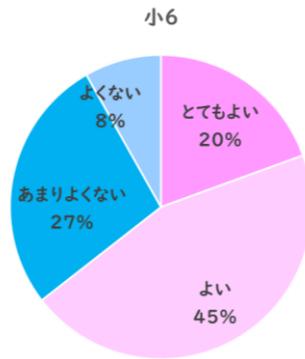
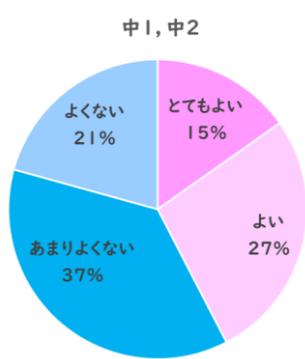
保護者570人

教職員177人



Q 令和8年度より休日部活動を実施しないことについてどう思いますか。

Q 兼職兼業で地域クラブに関わることについてどう考えていますか。（教員）



2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

中学校部活動の地域展開を進めるにあたり、8月・2月に地域住民向けの説明会を実施した。令和8年度に向け、推進委員会のこれまでの取組や今後の見通し、現状などの説明を行った。参加者は中学校に進学す

る児童・中学生の子をもつ保護者や地域の各種団体関係者、教職員等であった。子ども主体で持続可能な活動を目指し、様々な立場の方と連携していきっかけとすることができた。

参考資料

- ・保護者 子供達を第一に考えた地域展開となるよう、期待致します。
- ・指導者は同じだが団体として複数ある場合の練習時間や試合などの考え方は議論が必要だと感じました。
- ・生徒の活動時間・日数の制限、部活動と地域クラブの所属の関係性の解釈をより深めていかなければと思いました。
- ・行政、学校、スポーツ団体などの関わり方に関して少しですが理解できました。
- ・子供達がよりよい活動が出来るように、今までの規則や事務手続きにとらわれず、柔軟な対応を求めます。

お気軽にご参加ください

中学校部活動地域展開について
桜川市地域説明会

日時：令和6年8月22日(木) 18:30～
場所：大和ふれあいセンター シトラス

参加対象：市内在住の方 市内に勤務されている方 学校関係者等 中学生の指導に興味のある方 等
お気軽にご参加ください

内容 ○部活動の地域展開とは？
○桜川市の進捗状況の説明
○認定地域クラブについて
○質疑応答

参加申込：以下のURLに必要事項をご入力ください。
<https://forms.gle/PR8KgiQxV2vdgqe9>

参加申し込みはこちらの2次元コードからも →

お問い合わせ先
桜川市教育委員会
TEL 0296-58-5111 (代表)

主催：桜川市部活動地域展開推進委員会

桜川市 部活動地域展開説明会のお知らせ

日時：令和7年2月20日(木) 18:30～
会場：大和ふれあいセンター「シトラス」

令和8年度から「休日の学校部活動がなくなります」

市では、令和5年12月に「部活動地域展開推進委員会」を発足し、部活動の地域展開に向けて協議を進めております。令和8年度に向け、今の現状やこれまでの取組、これからの子どもたちの活動についての説明会です。

部活動地域展開の必要性
少子化が進捗する中、学校部活動を基盤とする体制で運営することは難しくなっております。主体的なスポーツ・文化芸術活動を実施するためには、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に開き、地域に取組む。学校や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を築く必要がございます。

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」より
スポーツ庁 令和6年12月

※参加対象者
・地域クラブの設立を考えている方
・これからお子さんが中学校に進学、義務教育学校後期課程に進級する方
・学校関係者 等
・興味のある方ならどなたでも参加いただけます。

お申し込みは、このQRコードから
またはお電話にて

【申込締切】
2月18日(火)

お問い合わせや
地域クラブ設立のご相談について
(市部活動地域展開推進委員会事務局)

「スポーツ活動」
スポーツ振興課
スポーツ施設課
0296-75-6600

「文化活動」
生涯学習課
0296-20-6300

・学校部活動に関するご相談は、各中学校、義務教育学校へ

令和8年度 休日の学校部活動は実施しません
部活動地域展開

部活動の地域展開を進めるにあたり、説明会を開催していただくことができれば、保護者や地域の関係者からのご意見を伺い、部活動の地域展開について、子ども主体で持続可能な活動を目指し、様々な立場の方と連携していきっかけとすることができた。

【課題】
△近年の少子化に伴う学校の小規模化等
・保護者や地域関係者との連携不足
・希望する部活動が学校にない
△主体的なスポーツの推進
・地域に開き、地域に取組む
・興味を喚起したい
△部活動の持続可能性
・活動の継続を促す
・地域関係者との連携
・地域関係者との連携
・地域関係者との連携

桜川市の取組
「部活動地域展開推進委員会」の開催
地域クラブへ設立の機会
文化芸術活動、教育委員会事務局等
と連携して推進委員会を令和5年2月に発足
し、これまでの取組の進捗について報告
しています。学校部活動の地域展開に向けて様々な
観点から、部活動の在り方、地域クラブの設立
などについて、学校部活動と連携して取り組む
ことによる機会確保のための協議も進め
ていきます。

「桜川市部活動地域展開推進委員会」とは
教育委員会事務局と、スポーツ振興課、
生涯学習課、スポーツ施設課、義務教育学校事務局
と連携して推進委員会を令和5年2月に発足
し、これまでの取組の進捗について報告
しています。学校部活動の地域展開に向けて様々な
観点から、部活動の在り方、地域クラブの設立
などについて、学校部活動と連携して取り組む
ことによる機会確保のための協議も進め
ていきます。

部活動地域展開 説明会を開催します
日時：令和7年2月20日(木) 18:30～
会場：大和ふれあいセンター「シトラス」
参加対象者
・興味のある方ならどなたでも参加いただけます。
申込締切：令和7年
2月18日(火)
申込方法：このQRコードから
またはお電話にて
お問い合わせください。

お問い合わせや
地域クラブ設立のご相談について
(市部活動地域展開推進委員会事務局)

「スポーツ活動」
スポーツ振興課
スポーツ施設課
0296-75-6600

「文化活動」
生涯学習課
0296-20-6300

・学校部活動に関するご相談は、各中学校、義務教育学校へ

区長文書回覧・保護者への配付・市SNSで周知

広報さくらがわ12月号

【市民向けの事業周知・広報チラシ】

【説明会参加者からの意見】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【地域説明会 推進委員長あいさつ】



【地域クラブの活動の様子（男子バレーボール）】

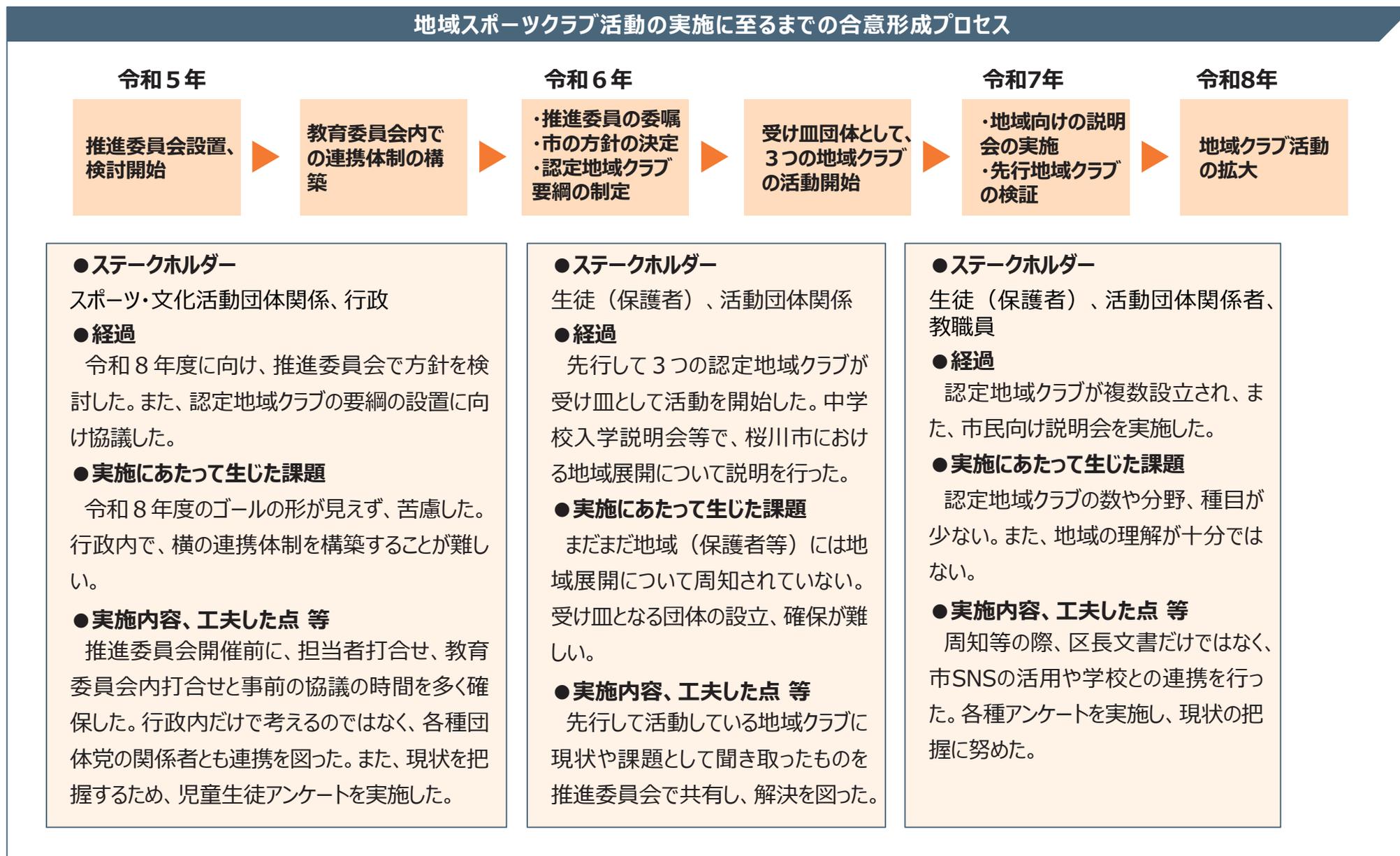


【地域説明会の様子】



【地域クラブの活動の様子】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

桜川市部活動地域展開推進計画ロードマップ

桜川市教育委員会 令和7年1月更新

| 令和5年度 | | | | 令和6年度 | | | | | | | | 令和7年度 | | | | | | | | | 令和8年度 | | | | | | | |
|---|---|---|-----------|---|---|---|---|--------|---|----|----|---|---|-----------------|---|---|---|---|---|---|-------|----|----|----|---|---|---|--|
| 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 桜川市地域展開推進委員会の開催（桜川市の現状と課題の把握課題解決に向けた検討委員会） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① ② ③ | | | ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ | | | | | ⑨6/4予定 | | | ⑩ | | ⑪ | | ⑫ | | | | | | | | | | | | | |
| 関係各所への周知・説明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・校長会・新入生説明会・児童生徒、保護者、地域団体等への事前周知・リーフレット全戸配布 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会・市中学校体育連盟・桜川市HP・広報誌 ・新入生説明会・部活動顧問会議 ・指導者登録の周知（地域人材のマッチング） | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・校長会・市中学校体育連盟・桜川市HP・広報誌 ・PTA総会・新入生説明会・部活動顧問会議 ・指導者登録の周知（地域人材のマッチング） スポーツ少年団・スポーツ協議会・文化協会 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 桜川市地域クラブモデル団体を検討 | | | | 地域クラブモデル団体の実施・検証 | | | | | | | | 桜川市認定地域クラブ登録手続きの相談・受付・周知 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 桜川市認定地域クラブ設置要綱（7月） | | | | | | | | 体験活動の充実（わくチャレ等） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域スポーツ団体・地域文化活動団体と学校との連絡調整 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部活動指導員の配置・教員の兼職兼業制度の整備 | | | | | | | | | | | | | | 休日部活動を月に2回まで | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域説明会（8月/2月）指導者講習会の実施（2月） | | | | | | | | | | | | | | 地域説明会・指導者講習会の実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童生徒アンケート 地域団体アンケート | | | | 児童生徒、保護者 教員アンケート② | | | | | | | | 児童生徒、保護者、地域団体、 教員アンケート③ | | | | | | | | | | | | | | | | |

既存の部活動の受け皿を増やす

既存の部活動にとられない活動の機会の確保

休日は学校部活動ゼロ
 ※土日は、地域クラブで活動
 ※土日は、教員ではなく地域の指導者